

公表	事業所における自己評価結果 (児童発達支援)
----	------------------------

事業所名	総合支援教室こっこつ	公表日	2025年 3月 1日
------	------------	-----	-------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・基準に定められたスペース以上の広さを確保できている ・1人当たりに対して十分なスペースを用意していると共に、学習や運動のスペースを分け、必要に応じて静かに過ごせるよ部屋も用意している。	必要に応じて個別の部屋も利用していく
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・1人の職員だけで複数の児童を対応することのないよう、勤務状況や送迎時間を工夫している。 ・加配職員も居るため安全に配慮して営業している	・1人の職員だけで複数の児童を対応することのないよう、勤務状況や送迎時間を工夫している。 ・加配職員も居るため安全に配慮して営業している
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・必要に応じて視覚的な支持を行い、目的によって空間が区切られている為、特性に配慮された環境となっている。	今後も必要に応じた支援を提供していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日清掃を行い、感染症対策として設備・器具の消毒も行っているため、極めて衛生的である。	引き続き、清掃・感染対策を行っていく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個室が完備されており、必要に応じて利用することができる。	必要に応じて、いつでも使用する事が出来るようにしておく
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・毎日のミーティングやヒヤリハットの共有等によって、目標の設定共有や振り返りを行っている。	今後も毎日のミーティングを継続していく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者向けの評価表を実施しており、必要に応じて業務に反映している。	定期的に取り組んでいく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎日のミーティングやそれ以外でも適時意見を出し合い、業務の最適化を図っている	継続して取り組んでいく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は行っていない	今後検討していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・定期的に研修が実施されており職員のスキルアップに努めている ・当日欠席でも後日研修資料を共有している	引き続き、適時研修を実施していく
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムはミーティングや必要に応じて適時職員で話し合い作成や共有を行っている。	継続して取り組んでいく
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・保護者との面談や職員から児童の課題の聞き取り等を行い支援計画に組み込んでいる ・保護者のニーズや子供の課題に寄り添った計画立てが行われている	引き続き、寄り添った支援内容を提供していく
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・作成過程から全職員が参加し支援計画を作成している ・職員全員で話し合い内容を精査している	今後も職員全員で取り組んでいく
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・すべての職員が共有しそれをもとに療育を提供している ・計画に基づいて支援が行われている	今後も職員全員で取り組んでいく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・保護者から提供された心理検査、知能検査等を参考にするとともに事業所内での様子等の両面の視点から検討している ・日々の観察から得た情報を職員間で共有しアセスメントの一助としている	今後も適切な支援内容を提供していく
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ねらい及び支援内容を踏まえた上で具体的な支援内容が設定されている ・適切な目標や具体的な支援方法が設定されている	今後も適切な支援内容を提供していく
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・活動内容は職員で話し合い決められている ・チームで行っている	今後も職員全員で取り組んでいく

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・子ども達が毎回新鮮な気持ちで課題に取り組めるようチームで提供する療育を考案している ・毎回異なる課題を提供している	今後も適切な支援内容を提供していく
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	・子どもの状況や課題に応じた個別や集団での活動を提供している ・個別、小集団の良い所を取り入れて行われている	今後も適切な支援内容を提供していく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・毎朝ミーティングで実施している ・連携して支援にあたれている	今後も職員全員で取り組んでいく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・支援後も毎日ミーティングを行い支援の振り返り次回の支援について協議している	今後も職員全員で取り組んでいく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・活動中とミーティングの際にその日の支援、それに対する子供たちの取り組み、言動等を記録し、支援の検証・改善や、支援計画の作成に活用している	今後も職員全員で取り組んでいく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・モニタリングを適時実施しており必要に応じて改善を行っている	継続して取り組んでいく
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・職員間で常に情報共有を行っている為、会議に参加する職員に関わらず、支援児童については一定以上の理解を有している ・学校や幼稚園、保育園と密に情報共有し連携している	継続して取り組んでいく
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・必要に応じて関係機関と連携し児童を支援している	継続して取り組んでいく
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・移行に向けての支援を適切に行っている	継続して取り組んでいく
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・情報共有、相互理解に努めている	継続して取り組んでいく
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	・現在はおこなえていない	今後機会を設けていきたいと思います
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	○	・現在はおこなえていない	機会があれば交流を行ってきたいと思います
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・帰りの送迎時や連絡ノート、SNS 等で共有している	継続して取り組んでいく
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・現在はおこなえていない	・現在実施はできていないが、今後提供していく予定である	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・見学や契約時に十分な時間を設けて丁寧な説明を行っている	継続して取り組んでいく
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・児童及び保護者の意向・利益を優先すべく、確認する機会を十分に設けている	継続して取り組んでいく

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・丁寧に説明を行い、同意を得ている	継続して取り組んでいく
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者からの相談は、子育てに関することに留まらずに真摯に受け止め児童へのより良い支援に結びつくものと考え助言、支援を行っている	継続して取り組んでいく
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者会等の開催までには至っていないものの、家族で参加できるイベントを実施し、交流できる機会の提供は行っている	今後は保護者会等の開催も検討していきたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情等への対応は職員間で共有され、最重要事項として取り扱い、対応・改善を行っている	継続して取り組んでいく
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・事業所通信の発行及びSNS活用による情報発信を行っている	継続して取り組んでいく
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・鍵付きのキャビネットに保管している	継続して取り組んでいく
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・特性やその子の特徴を踏まえた配慮を十分にしている	継続して取り組んでいく
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・イベントの際に近隣住民に参加の声掛けを行っている	継続して取り組んでいく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・安全計画に基づいて行っている	継続して取り組んでいく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・避難経路の確認等、必要な訓練を行っている ・BCPを作成している	継続して取り組んでいく
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に確認を行っている	継続して取り組んでいく
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・該当する児童が現在いないが、該当する場合はそのように対応する意向である	必要に応じて対応していく
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全に十分に配慮し支援している	継続して取り組んでいく
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・契約時に説明を行い必要に応じてSNSなどで周知している	継続して取り組んでいく
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・毎日のミーティングで必ず行っている	継続して取り組んでいく
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・安全計画に基づいて行っている	継続して取り組んでいく
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束の実行はいまのところないが、全保護者に対して十分な説明を行い理解を得ている	継続して取り組んでいく